



# 2023年6月期 第1四半期決算説明資料

2022年11月11日

便利で安全なネットワーク社会を創造する

**BroadBand Security, Inc.**

株式会社ブロードバンドセキュリティ

<https://www.bbsec.co.jp/>

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

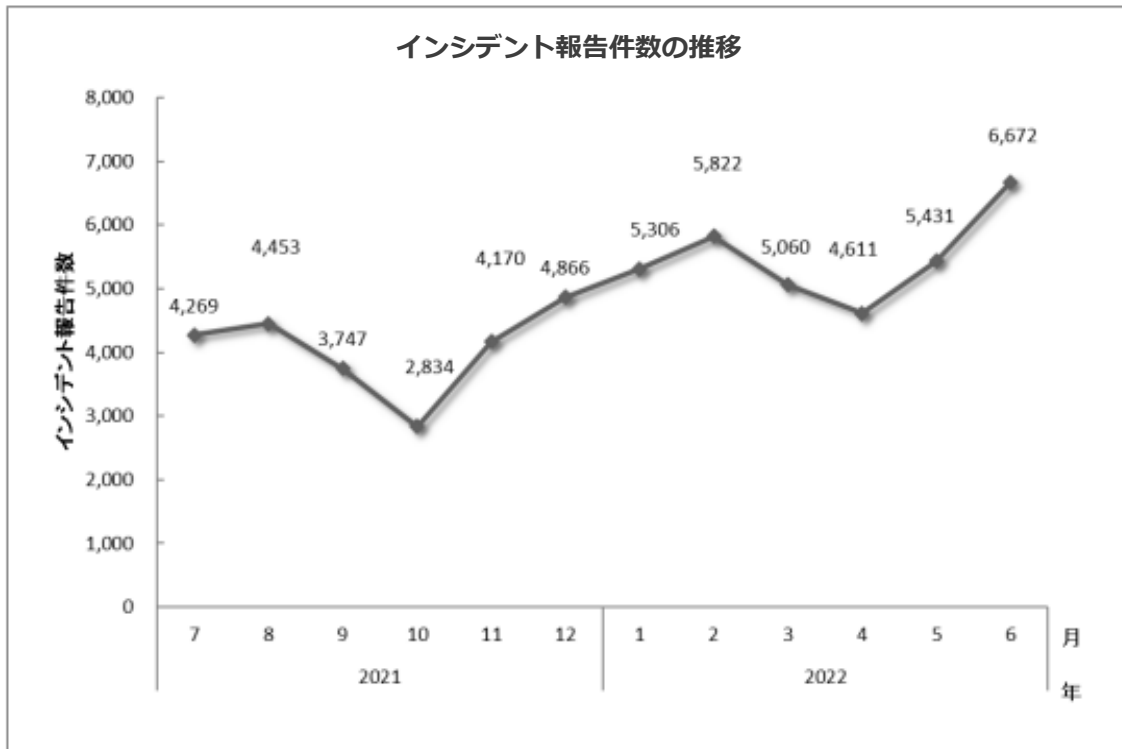
2023年6月期第1四半期業績ハイライト

トピックス

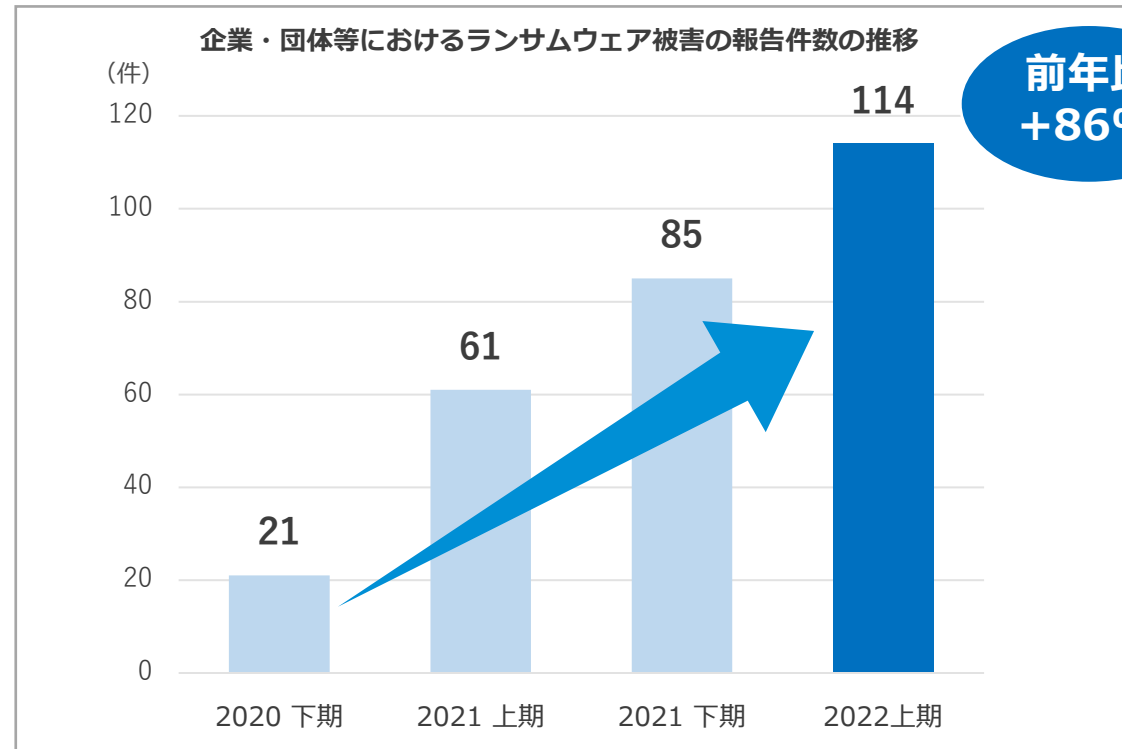
Appendix

# 便利で安全なネットワーク社会を創造する

## 日本におけるサイバー攻撃は年々増加 ランサムウェアによる被害の増加も顕著に



出典元：JPCERTコーディネーションセンター  
 JPCERT/CC インシデント報告対応レポート 2022年4月1日～2022年6月30日  
[https://www.jpCERT.or.jp/pr/2022/IR\\_Report2022Q1.pdf](https://www.jpCERT.or.jp/pr/2022/IR_Report2022Q1.pdf)



出典元：警察庁  
 「令和4年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」  
 (令和4年9月15日)

# 見えない脅威から「守るべき情報資産」をさまざまな視点で防御

情報資産への脅威と当社のサービス

## 技術的対策

### インターネット公開エリア

- ▶ 脆弱性診断
- ▶ UI/UX評価・開発・運用

### クラウドエリア

- ▶ クラウドセキュリティ設定診断
- ▶ Managed Security Service for AWS

### サーバエリア

- ▶ Managed Security Service
- ▶ SIEM運用/セキュリティログ解析

### オフィス/テレワークエリア

- ▶ インターネット分離クラウド
- ▶ エンドポイントセキュリティ(EDR)運用

### 緊急対応

- ▶ 緊急対応サービス
- ▶ クレジットカード情報漏えい調査

## 守るべき情報資産

- ・ 財務情報
- ・ 顧客情報
- ・ 人事情報
- ・ 技術情報
- ・ ノウハウ etc.

## 組織的対策

### セキュリティ評価/コンサルティング

- ▶ 情報セキュリティ・アドバイザー
- ▶ PCI DSS準拠支援
- ▶ CSIRT構築/運用支援
- ▶ インシデント対応訓練

### フォレンジック/内部統制

- ▶ デジタルフォレンジック

## 人的対策



### 教育/情報提供

- ▶ 標的型攻撃メール訓練
- ▶ 情報セキュリティ研修
- ▶ 脆弱性情報提供

 **技術的対策** 情報資産を守るための対策を、技術的な観点からご支援


対策エリア	提供サービス	
 <b>インターネット公開エリア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 脆弱性診断</li> <li>▶ UI/UX評価・開発・運用</li> </ul>	<p>システムライフサイクルにおけるあらゆるフェーズとあらゆる対象範囲で診断を実施</p> <p>WEBサイトランキング・評価・総合分析、サイト構築・運用</p>
 <b>クラウドエリア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ クラウドセキュリティ設定診断</li> <li>▶ Managed Security Service for AWS</li> </ul>	<p>クラウドサービス別の業界標準ベンチマークを用いてセキュリティ推奨設定への適合度をチェック</p> <p>クラウドサービスの特性を考慮し、攻撃の検知・対応に加え、インシデントが発生する前の予防も支援</p>
 <b>サーバエリア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Managed Security Service</li> <li>▶ SIEM運用/セキュリティログ解析</li> </ul>	<p>24x365体制で監視・精査し予兆並びにインシデント発生時にお客様にアラートを発呼</p> <p>セキュリティログを当社セキュリティ技術者が監視/分析し、インシデント発生時にお客様にいち早くお知らせ</p>
 <b>オフィス/テレワークエリア</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ インターネット分離クラウド</li> <li>▶ エンドポイントセキュリティ(EDR)運用</li> </ul>	<p>お客様の外部接続環境を当社クラウドにお預かりし、セキュリティ監視やマルウェア検知、セキュリティビッグデータ解析</p> <p>組織の端末を24/365体制で監視。インシデント発生時には端末隔離等の初動対応を実施</p>
 <b>緊急対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 緊急対応サービス</li> <li>▶ クレジットカード情報漏えい調査</li> </ul>	<p>インシデント発生時に、お客様企業に出向き、事象の把握と初期対応、そして今後の対策についての方針を決定するための支援</p> <p>PCI SSCの基準に則った調査・報告を行い、お客様のインシデント対応を支援</p>

## 組織的対策 セキュリティ強化に向けた組織的な体制作りをご支援

対策エリア	提供サービス	
 <b>セキュリティ評価/ コンサルティング</b>	▶ 情報セキュリティ・アドバイザリ	情報セキュリティ強化に向けた組織的な体制づくりを、社内ルール/情報システム両面から支援
	▶ PCI DSS準拠支援	クレジットカード業界の国際的なセキュリティ基準 PCI DSS、PCI P2PE、PCI 3DS評価機関として高品質の訪問評価、準拠コンサルティングを実施
	▶ CSIRT構築/運用支援	お客様それぞれの企業文化・リソースに合ったCSIRTのプランニング/構築/運用を専門家の立場から支援
	▶ インシデント対応訓練	CSIRTなどのインシデント対応要員の対応力を高めるため、具体的なシナリオに従ってロールプレイング形式で訓練を実施
 <b>フォレンジック/内部統制</b>	▶ デジタルフォレンジック	法的根拠となるデータの抽出、報告書の作成等のデジタルフォレンジックに必要となるサービスを提供。また、重大インシデント発生時の初期対応から復旧まで支援

## 人的対策

社員一人一人のセキュリティに対する認識とスキルを向上させ、組織全体としてのリスク軽減をご支援

対策エリア	提供サービス	
 <b>教育／情報提供</b>	▶ 標的型攻撃メール訓練	擬似攻撃メールを配信し、実際に模擬体験をすることで、社員の方々のセキュリティ意識を高めるための教育
	▶ 情報セキュリティ研修	受講者が情報セキュリティに関する知識やスキル等を養い、組織のリスク軽減を実現させるプログラム
	▶ 脆弱性情報提供	世界中を駆けめぐる莫大な脆弱性情報の中からお客様システムに影響を及ぼす可能性のある脆弱性情報のみをフィルタリングして提供



株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2023年6月期第1四半期業績ハイライト

トピックス

Appendix

## 売上高の増加にともない、売上総利益も増加 販管費の増加を吸収し、営業利益・経常利益・当期純利益とも過去最高を更新

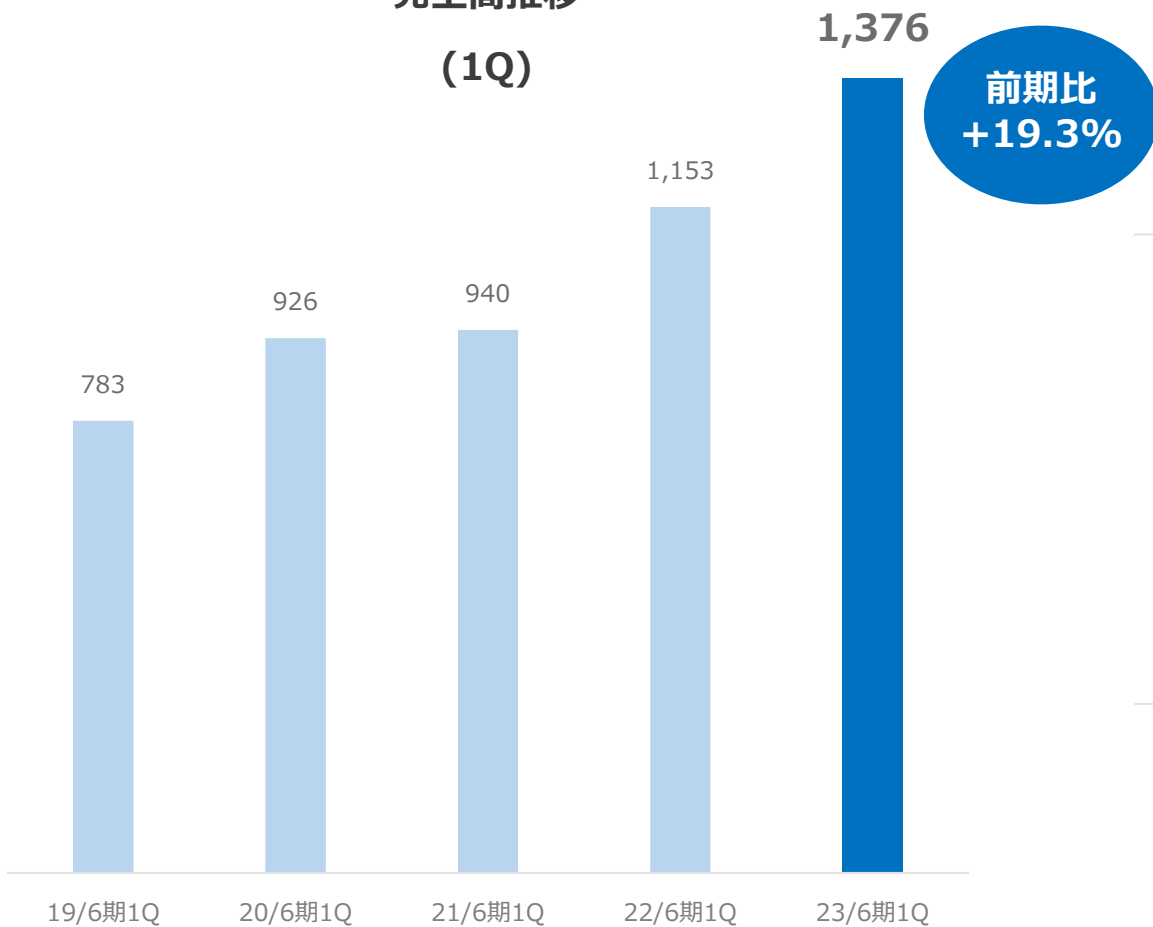
単位：百万円

科目	2022年6月期 1Q累計実績	2023年6月期 1Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,153	<b>過去最高</b> 1,376	+222	+19.3%
売上原価	856	985	+128	+15.0%
売上総利益	296	391	+94	+31.9%
販売費及び一般管理費	261	294	+33	+12.9%
営業利益	35	<b>過去最高</b> 96	+60	+172.1%
売上高営業利益率	3.1%	7.0%	+3.9p	
経常利益	30	<b>過去最高</b> 89	+59	+198.8%
売上高経常利益率	2.6%	6.5%	+3.9p	
当期純利益	16	<b>過去最高</b> 98	+82	+499.8%

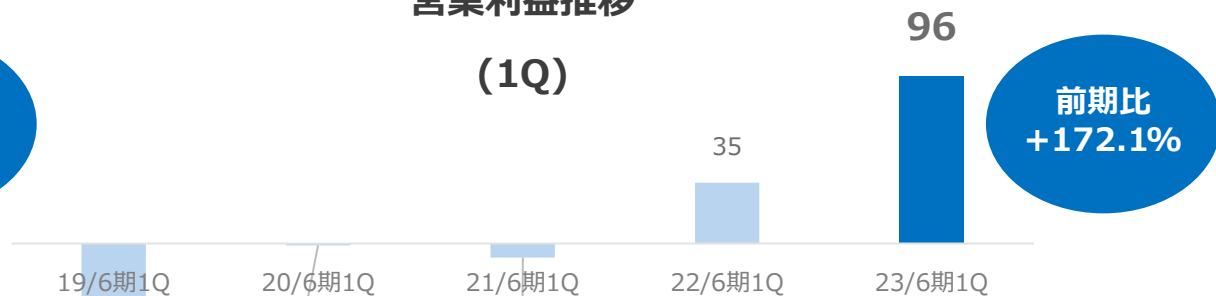
# 前年同期比、増収・増益で着地 1Qとして過去最高

単位：百万円

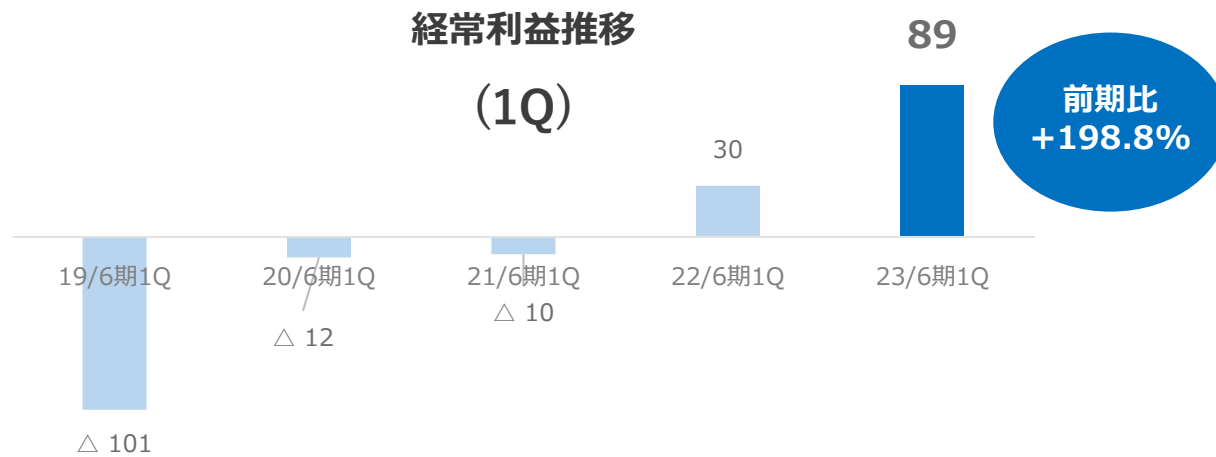
売上高推移  
(1Q)



営業利益推移  
(1Q)



経常利益推移  
(1Q)

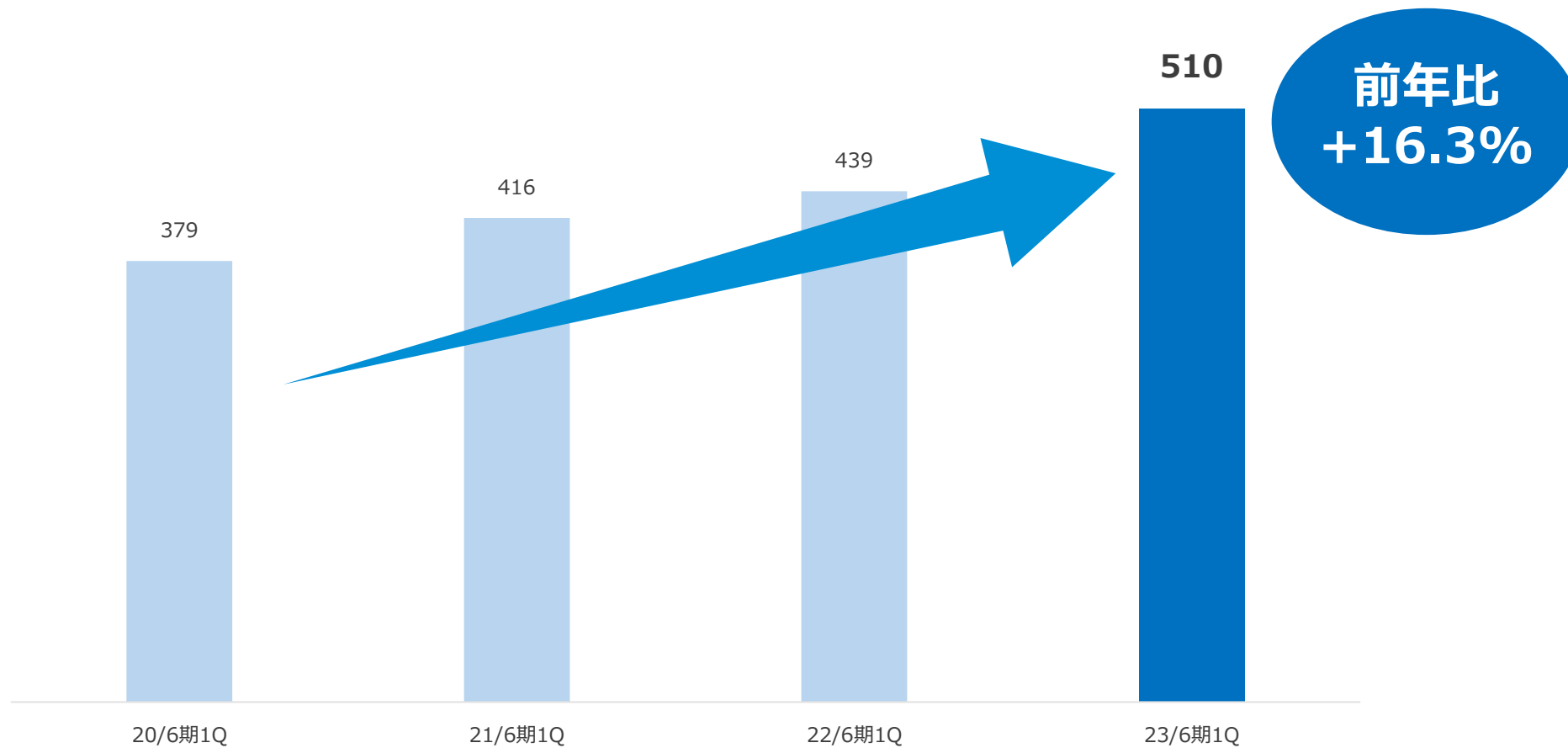


## 各サービス区分とも過去最高の売上高を更新 特に定常収益の比率の高い「情報漏えいIT対策」の増加が顕著に

単位：百万円

サービス区分	2022年6月期 1Q売上高	2023年6月期 1Q売上高	前年同期比		変動要因
			増減額	増減率	
セキュリティ監査・ コンサルティング	257	<b>281</b>	+23	+9.1%	セキュリティ事故対応コンサル、PCI DSSの 定期監査、一般業界向けセキュリティコンサル ともに好調
脆弱性診断	331	<b>397</b>	+66	+20.1%	顧客数、案件数とも好調に推移
情報漏えいIT対策	564	<b>697</b>	+132	+23.5%	セキュリティ事故緊急対応の増加、EDRなど 24時間監視の継続サービスの積上 (定常収益の増大)

情報漏えいIT対策における、定常収益の売上高が拡大  
前年同四半期比較で16.3%増、71百万円増



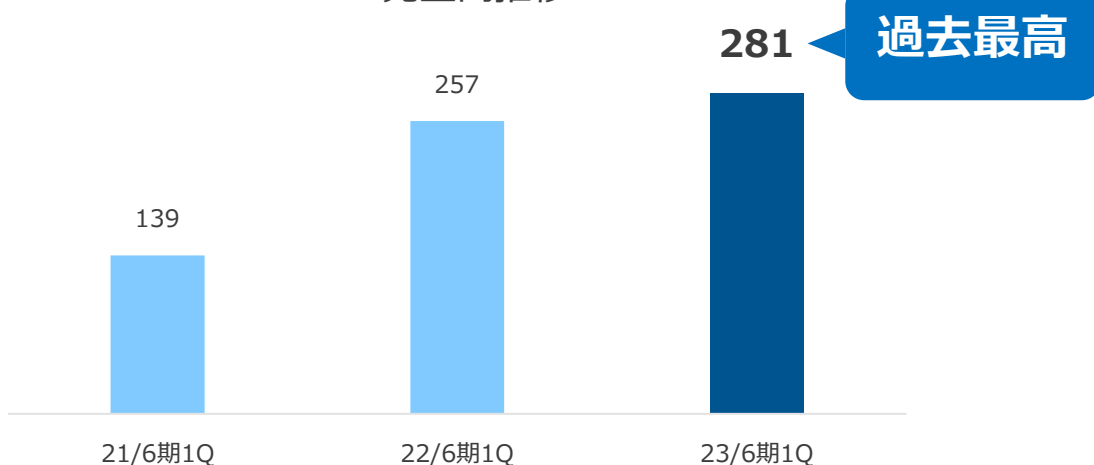
単位：百万円

## セキュリティ事故対応に係る対策支援を中心に セキュリティ・アドバイザリなどが堅調に推移し、前年比増収を継続

単位：百万円

### セキュリティ監査・コンサルティング

売上高推移



過去最高

金融業界のコンサル、PCI DSS準拠支援に有効な資格者増

**88**人

2022年9月末

(CPSA・QSA・CISA・CISM・CISSP資格取得者数)

### ・情報セキュリティコンサルティング

セキュリティ事故後の再発防止策を含むコンサルティングサービスが続伸。特にIT環境における事業継続計画への対応など、事故前提のセキュリティ対策の重要性が高まる。

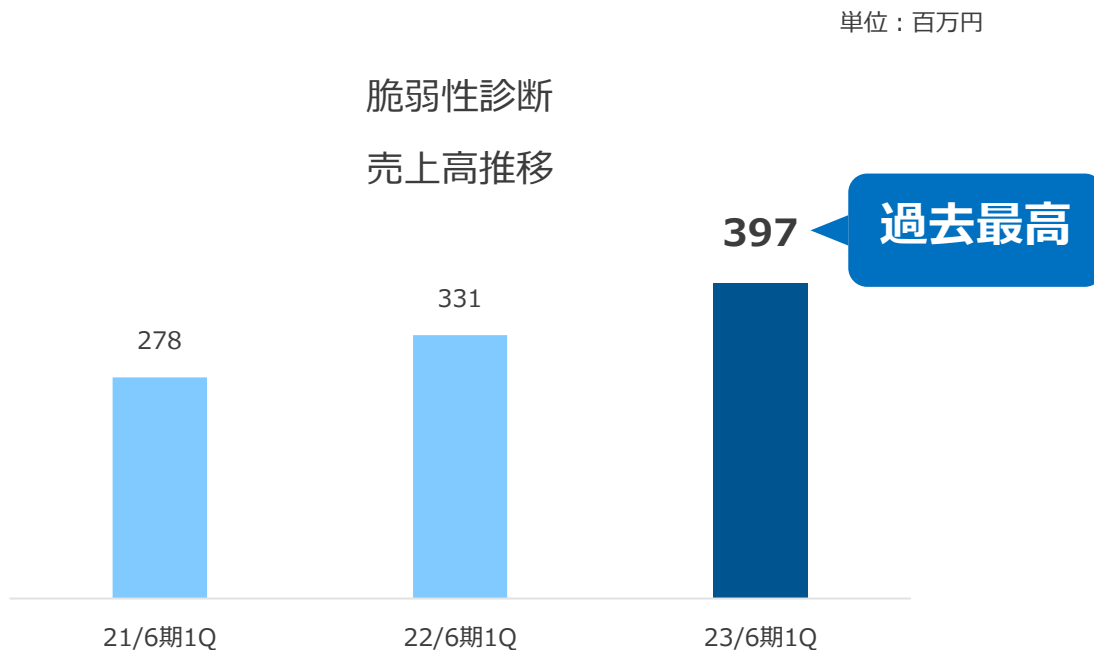
### ・金融関連セキュリティ標準への準拠支援

最新版の標準である「PCI DSS v4.0」への対応支援コンサルティングの引き合いが続伸。

### ・資格取得の促進と育成

各種資格の取得支援を推進し、コンサルタントの知見向上。継続的に顧客企業にアドバイスを提供。

## サービスの柔軟化・クロスセルで顧客ニーズに応え、過去最高の売上高を更新



### • Web・ネットワーク脆弱性診断

顧客の保有システム棚卸のタイミングに合わせた脆弱性診断により大規模な案件が発生。大ボリュームであっても受け入れ可能な体制で柔軟に対応。

### • ペネトレーションテスト

脆弱性診断を何年にもわたって実施してきた顧客から、システム特有のリスクをさらに深堀するため、シナリオベースでのペネトレーションテストが増加。

### • デジタルフォレンジックとの連携

セキュリティ・インシデント対応の相談をきっかけとして、デジタルフォレンジックと合わせ、システム再開前のセキュリティチェックとして脆弱性診断を実施するケースが増加。



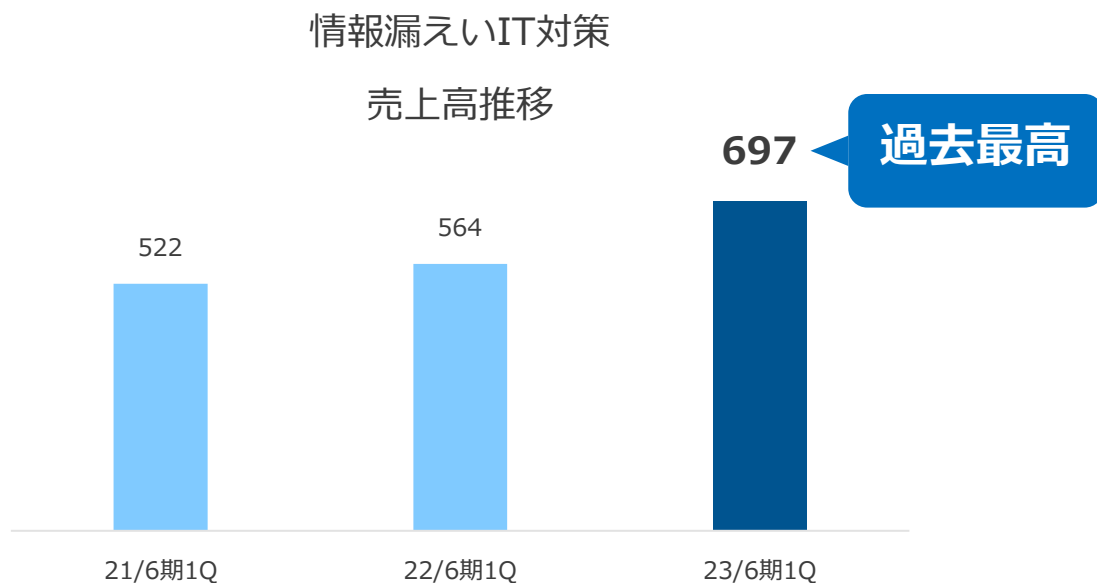
#### SQAT® Security Report 2022-2023年 秋冬号

- サプライチェーン攻撃を知る
- セキュリティの過去、現在、未来

# セキュリティ運用のプロフェッショナルが24時間・365日体制で支援 EDR※の遠隔運用サービスが引き続き好調

※EDRとはEndpoint Detection And Responseの略で、エンドポイント（端末）の挙動等を監視し、異常の発生を検知・対応する新たなセキュリティソリューション

単位：百万円



EDR監視運用 顧客数	デジタルフォレンジック/PFI 売上
前期比 <b>2.3倍</b>	前期比 <b>1.7倍</b>

## ・マネージドセキュリティサービス

クラウドサービス型のエンドポイントセキュリティ製品 (EDR)の導入・監視運用が引き続き堅調に推移。

また、機器販売やクラウドサービス導入作業・自社サービスカスタマイズ等のスポット売上が前年同期比で**1.3倍強**となり業績に寄与。

## ・デジタルフォレンジック および PFI

サイバー攻撃による被害調査のデジタルフォレンジックサービスやPFI(PCI Forensic Investigator)は、インシデントが判明した後の対応が主だが、自社システムの設定に不安を感じられた顧客からの「念のため」調査にも対応し、業績向上に寄与。



1. 定常収益モデルの月額売上高の増加による収益上積みを見込む
2. 脆弱性診断のサービスメニュー拡大（ランサム対策）による収益貢献
3. フォレンジックサービスの拡大とアップセル

単位：百万円

科目	2022年6月期 通期実績	2023年6月期 通期計画	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,216	<b>5,800</b>	+583	+11.2%
営業利益	509	<b>580</b>	+70	+14.0%
売上高営業利益率	9.8%	<b>10.0%</b>	+0.2p	
経常利益	497	<b>571</b>	+73	+14.8%
売上高経常利益率	9.5%	<b>9.8%</b>	+0.3p	
当期純利益	352	<b>400</b>	+47	+13.5%

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2023年6月期第1四半期業績ハイライト

トピックス

Appendix

ビジョン

## 便利で安全なネットワーク社会を創造する

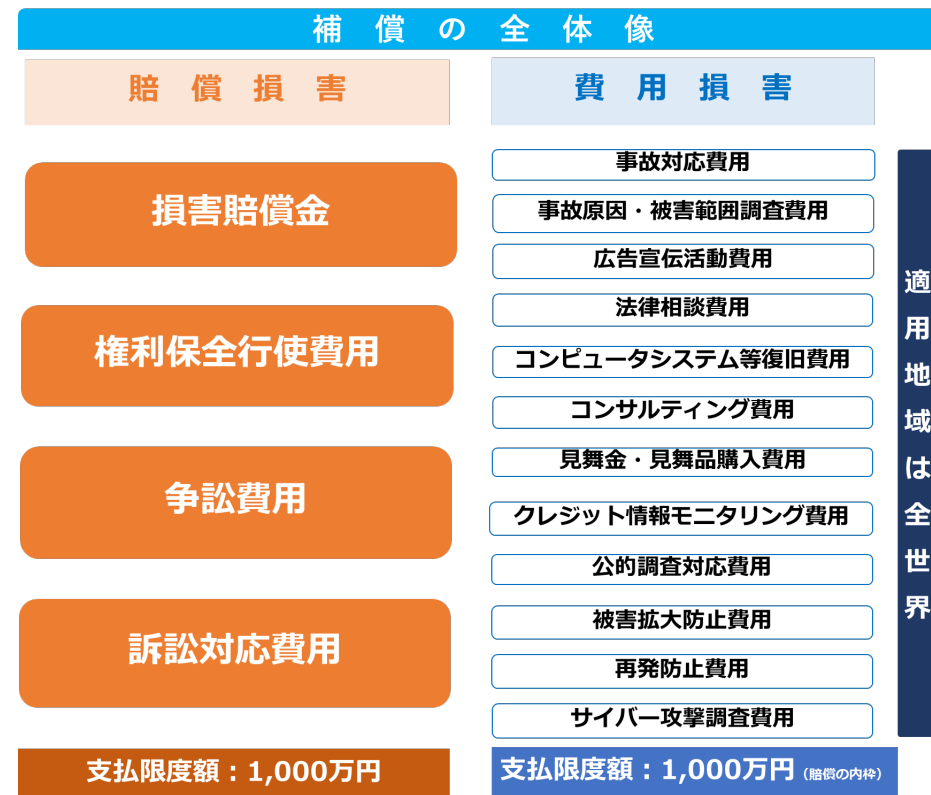
価値

1. お客様の情報資産を守り成長を支援する
2. 顧客ニーズに真摯かつ迅速に対応する
3. 高度な専門知識とサービスを分かりやすく提供する
4. 進化する攻撃にサービスで対抗する

## 最新のサイバーセキュリティの脅威に対応し、お客様の事業継続を支える 「サイバー保険付帯の脆弱性診断サービス」提供開始

脆弱性診断に三井住友海上社のサイバー保険を自動付帯

当社で実際に発生した事故対応関連費用のうち  
初動対応の平均額は約1,000万円



※本制度の詳細は、ご契約後代理店・扱者にお問い合わせください。

サイバー攻撃対応にかかる初動費用平均の**1,000万円**までの補償を付帯

# ユーザーの行動・意識に特化したクラウド型データ提供サービスを開始 消費者の行動と意識を集約しスコアリングすることで、公正な数字に基づく企画と判断をサポート

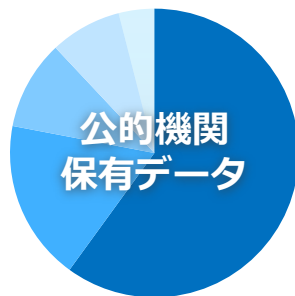
## マーケティング・データベース



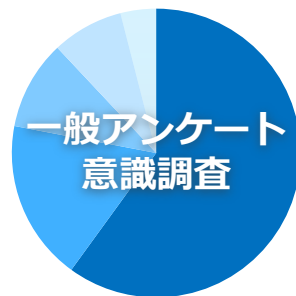
## すぐに使える**4,500**点以上の豊富な統計・リサーチデータ

マーケティング・IT、産業、経済、人口社会、海外、時事の6つのカテゴリと52のサブカテゴリ

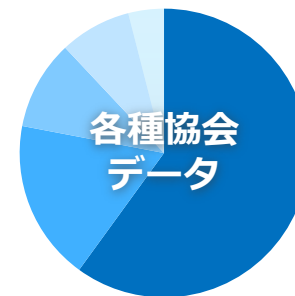
広告、メディア、SNS、SEO、人口・社会、情報通信、エネルギー、環境、SDGs、IoT、セキュリティ・プライバシー、CRM・データ分析、テクノロジー、UI/UX、AI、フィンテック・クラウドファンディング、少子高齢化、暗号資産、災害・事故、司法・警察、政治、文化、教育、医療・介護、社会保障、美容・娯楽、飲食・旅行、人口・世帯、物価、労働・賃金、貿易、財政、通貨・為替、経済予測、不動産、金融・保険、卸売・小売、運輸、建設、鉱工業、農林水産、他



内閣府、総務省、外務省、国土交通省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、その他公的機関の統計データ等



ユーザーアンケート、一般意識調査、ネットリサーチデータ、アンケートモニター調査データ等



一般社団法人公開データ、業界組合、業界連合公開データ、業界ごとの協会公表データ等

上記以外にも欲しいデータはリクエストを当社へ頂ければ、データ探索と使用許諾を得たうえで、表・グラフ・資料作成を当社が代行



## 「Splunk オブザーバビリティ」の提供を開始

Gomezサイトパフォーマンス（表示速度・稼働率）測定・改善サービスにシステム全体の可視化と障害時間短縮を実現する「アプリケーション統合モニタリングサービス」を提供開始

- ▶ すべてのデータとシステムを包括的に可視化
- ▶ トラブルの根本原因および改善策をリアルタイムで提供

### 解決すべき課題

- システム複雑化により異常時からの復旧に時間がかかる
- ステークホルダーが多数で監視状況の把握が困難
- パフォーマンス劣化の原因が分からず売上機会の損失

- ▶ **1. APM (アプリケーションモニタリング)**  
サービス間の依存性分析。根本原因をメソッドレベルで追跡。AIによるアラート発信、障害対応時間短縮
- ▶ **2. RUM (リアルユーザーモニタリング)**  
ブラウザ要因によるパフォーマンス劣化の特定。JSエラーの検知、Google社のコアウェブバイタル対応
- ▶ **3. Synthetic Monitoring (外形監視)**  
外部環境からブラウザエミュレートし、50種以上の指標を追跡。(Agentインストール不要)
- ▶ **4. Infrastructure Monitoring (インフラ監視)**  
インフラのリアルタイム可視化ツール。オンプレミス&ハイブリッド/マルチクラウド監視

### 当サービスで 解決できる内容

- 障害対応時間の短縮・予兆検知
- システム全体の可視化と一括管理
- エンドユーザーの体感・体験の把握と改善

# 最新のサイバーセキュリティの動向と対策を、タイムリーに分かり易くご紹介する「SQAT® 情報セキュリティ瓦版」「SQAT® Security Report」公開

## SQAT® Security Report

無料

Web

冊子



半期毎発行

## SQAT® 情報セキュリティ瓦版

無料

Web



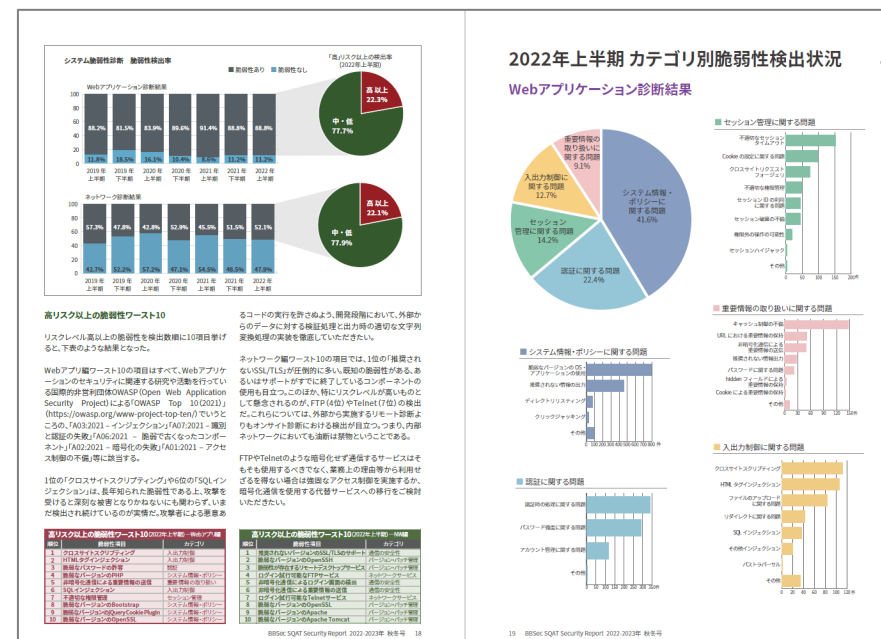
隔月発行



6ヶ月ごとに当社脆弱性診断の結果を集計・分析。その傾向を探るとともに、セキュリティに関する国内外の動向をわかりやすくお伝えしています。

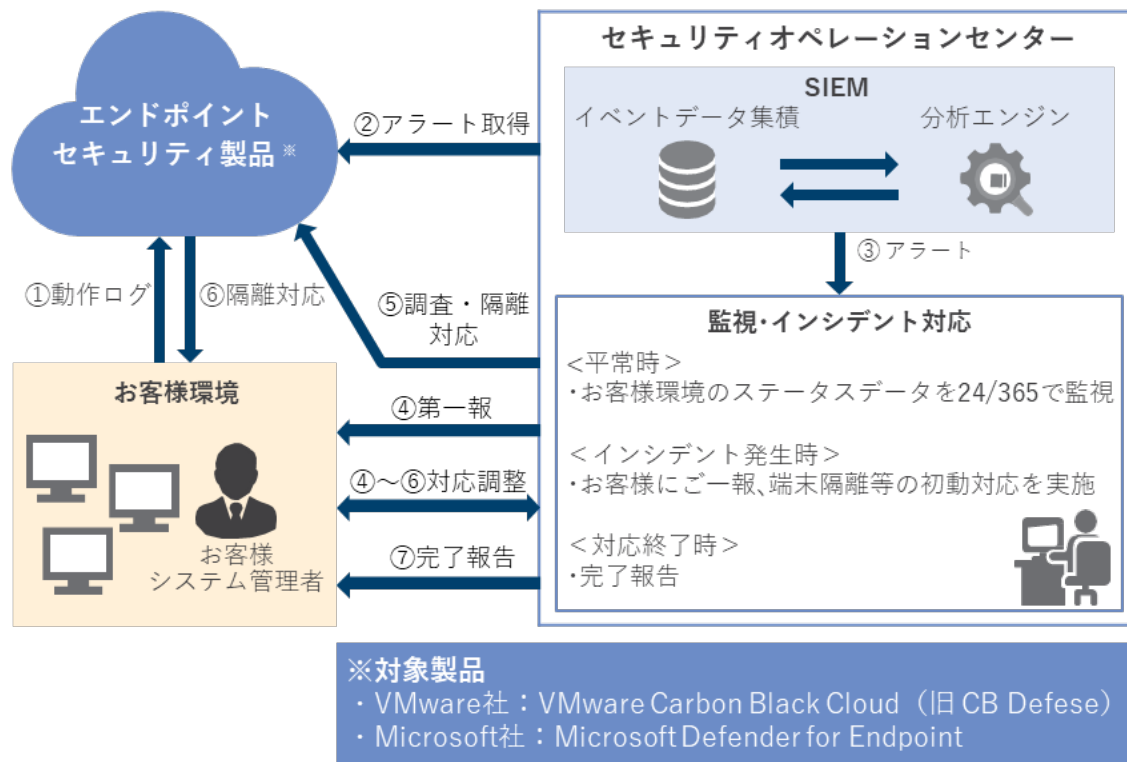
SQAT®セキュリティトピックスで取り上げた話題から、特にホットなものを深掘り。解説記事を瓦版としてお届けしています。

- ▶ 脆弱性診断サービスに関する最新動向をご提供
- ▶ 当社の脆弱性診断サービスを通じて見えてくる動向をお客様に還元
- ▶ 企業のセキュリティ担当者の方への解説記事



# エンドポイントに対する監視運用サービスのメニューを強化 AWSに特化したマネージドサービスの開始など、市場と顧客のニーズに対応

## サービス構成



## 前期にリリースした新サービス

- ▶ EDR-MSS for Microsoft Defender for Endpoint
- ▶ Managed Security Service for AWS
- ▶ SASE-MSS powered by Prisma Access from Palo Alto Networks

エンドポイント対策関連の取引社数は前年比**2.3倍**に

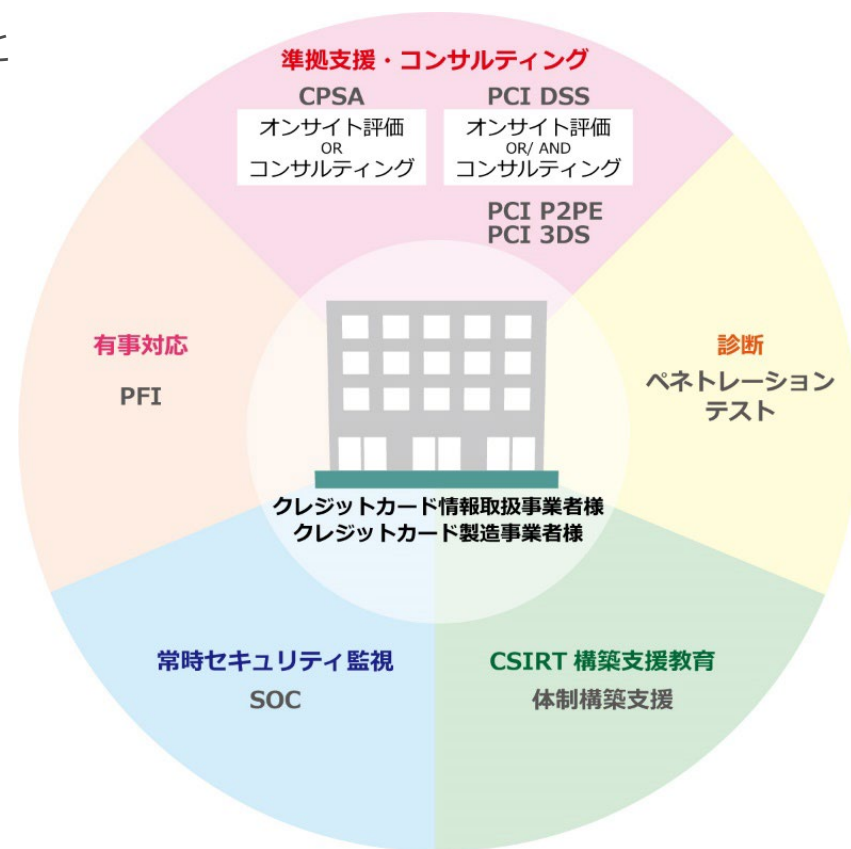


# 国際的なクレジットカードセキュリティ基準団体の円卓会議「2022-2024 Global Executive Assessor Roundtable」(GEAR)に2期連続で選出

- GEARとは、主要なPCI 評価企業で構成される諮問委員会
- BBSecは日本で初めてGEARに選出（2020-2022）された企業
- 高い技術力とヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域を含む広範な地域での活動と広い分野での対応が評価されている

## PCI SSC のエグゼクティブ・ディレクター ランス J. ジョンソン氏のコメント（当社訳）

「Global Executive Assessor Roundtableは業界の専門知識と見解を提供することで、PCIセキュリティ基準及びプログラムの開発に影響を与えます。組織がグローバルにペイメントデータを保護するための取り組みにおいて、BBSecと協力できることを楽しみにしています。」



# 社内の多様性の確保や育児・介護支援等、従業員に安心して活躍できる働きがいのある職場づくりと社会の実現に努めています

## 人材育成の推進 ～社員の未来を応援する「**みらい時間**」を創設～

1日の勤務時間を従来の**7.5時間から6.5時間に短縮**し、社員のスキルアップ、資格取得をサポート  
2018年から継続して国公立大学にセキュリティ講座を開き講師を派遣、日本のセキュリティ人材教育の一旦を担う  
＜実績＞国立大学法人 山梨大学 / 国立大学法人 秋田大学 / 公立大学法人 秋田県立大学

## ダイバーシティの推進

持続的な成長のためには、様々な経験・技能・属性などの視点や価値観が存在する必要があることを認識し、社内における外国人、女性、中途採用者等の活躍促進を含む多様性の確保を推進

## 柔軟な働き方の推進

リモートワーク・在宅勤務制度を実施。全社員にリモートワーク用の通信環境を提供  
介護休業制度、介護休暇制度、介護時間（短時間勤務）制度については法定以上の制度を導入し、男女の別なく育児・介護等と業務の両立を支援

### ▶ 女性活躍推進

女性管理職の割合は業界平均の約2倍

(2021年) 【女性管理職割合】 16.3% (産業平均値※8.2%)

※「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画等に関する省令第8条 第1項第1号イ(4)に定める「産業ごとの管理職に占める女性労働者の割合の平均値」 <https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000797132.pdf>



株式会社ブロードバンドセキュリティについて

2023年6月期第1四半期業績ハイライト

トピックス

Appendix

## 会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)  
BroadBand Security, Inc.

## 本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F  
(〒160-0023)

## URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

## 設立

2000年11月30日

## 資本金

293百万円

## 決算期

6月

## 株式公開情報

市場：東京証券取引所 スタンダード市場  
上場日：2018年9月26日  
証券コード：4398

## 従業員数

222名 (2022年6月末現在)

## 代表者

代表取締役社長 滝澤 貴志  
代表取締役副社長 森澤 正人

## 事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

## 事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店  
東北セキュリティ診断センター

海外：韓国支店

オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

### 2000 会社設立

#### 国内ブロードバンド網の相互接続インフラを提供すべく会社を設立

2000年11月 会社設立（社名：(株)ブロードバンドエクステンジ）  
2004年10月 合併によりネットワーク監視事業を追加

### 2005 セキュリティサービス開始

#### 初のセキュリティサービス「セキュアメールASPサービス」を開始

2006年5月 (株)ブロードバンドセキュリティに社名変更  
2008年5月 PCI DSSの認定審査機関「QSAC」認定取得

### 2009 セキュリティ専業へ

#### セキュリティ事業に特化、各種サービス開始

2009年1月 「デイリー脆弱性診断」を提供開始  
2009年4月 セキュリティオペレーションセンター開設  
2009年4月 「PCI DSS準拠支援」を提供開始

### 2012 グローバル展開開始

#### 国内企業の海外展開支援をするために、初の海外支店オープン

2012年3月 韓国営業所（現韓国支店）設立  
2013年3月 デジタルフォレンジック事業開始  
2015年5月 「PCI DSS準拠支援」のグローバル対応を本格化

### 2016 統合サービス開始

#### サービス提供範囲をITのみから組織全体へと拡大

2016年5月 「PCI DSSオンサイト評価」を欧米に拡大  
2017年5月 「インターネット分離」を提供開始

### 2018 株式公開

#### お客様の基幹に触れる事業者としての責任を果たすべく、株式公開

2018年9月 東京証券取引所JASDAQ市場への新規上場

### 2020 新たな社会ニーズへの対応

#### リモートワークなど新たな社会ニーズに求められるのセキュリティサービスを積極展開

2020年8月 「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」を提供開始  
2020年9月 「国際送金ネットワーク SWIFT 評価・コンサルティング」の提供を開始

### 2021 サービス領域拡大

#### PFI、CPSA登録によるサービス領域拡大とゴメス・コンサルティング事業の承継

2021年4月 カード情報漏えい事故調査機関 PFI登録  
2021年5月 クレジットカード製造におけるセキュリティ評価機関 CPSA登録  
2021年7月 モーニングスター株式会社よりゴメス・コンサルティング事業承継

### 2022 クラウドへの注力

#### 資格者数の飛躍的増大、AWSパートナー認定

2022年4月 東京証券取引所の市場再編により「スタンダード市場」に移行  
2022年5月 AWSパートナーネットワークセレクトティアサービスパートナー認定  
2022年7月 「サイバー保険付帯の脆弱性診断サービス」の提供開始

# 便利で安全なネットワーク社会を創造する

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援するセキュリティサービスプロバイダー

## セキュリティ監査・コンサルティング

お客様システムの可視化/課題抽出/課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織両面からセキュリティの盲点を発見し、実現可能な解決策を提示。

## 脆弱性診断

お客様システムに潜む脆弱性の有無を検証し、リスクを分析した上で改善案を提示するサービス。時々刻々と変化するセキュリティ事情に対応するために様々なニーズに応える各種診断メニューをラインナップ。

## 情報漏えいIT対策

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが24時間・365日体制でご支援。

現状を可視化



対策の導入と  
24/365運用



## 当社が多くのお客様から選ばれる理由

### 豊富な実績



これまでに延べ45,500システム超  
の脆弱性診断実績

(2022年6月現在)

### 高品質・技術対応力



国内最多規模の資格保有者の知識・  
経験を核とした最先端の技術対応力

### 中立性・信頼性



最適な改善策を提示するために  
欠かせないベンダーニュートラル性

### ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに  
お応えする柔軟な体制

## セキュリティの資格保有者が多数在籍し、多角的にお客様の対策をご支援

PCI DSS  
基準認定付与件数  
**581件**  
(2022年5月現在)

PCI DSS  
基準認定付与企業数  
**130社**  
(2022年5月現在)

AWS認定資格  
取得数  
**123名**  
(2022年5月現在)

PCI関連資格取得者数  
<QSA、CISSP等>  
**88名**  
(2022年5月現在)

SWIFT  
評価企業数  
**23件**  
(2022年5月現在)





**BBSec**  
BroadBand Security, Inc.

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ  
お問い合わせ [ir@bbsec.co.jp](mailto:ir@bbsec.co.jp)  
<https://www.bbsec.co.jp/ir/>

※本資料の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。